

105 学年度淡江大学日文系国際学術シンポジウム

テーマ キャップストーンコースとキャリア教育のレリバンス
(頂石課程與職涯連結)

時 間 2017年6月24日(土曜日)

場 所 淡江大学鷺声国際会議場

主 催 淡江大学日本語学科

議程(案)

0840-0900	受付
0900-0910	開幕式 曾 秋桂(淡江大学教授兼系主任・台湾日本語教育学会 理事長) 鹽澤 雅代(日本台湾交流協会文化室主任) 陳 小雀(淡江大学教授兼院長)
0910-1000	基調講演(1) 主持人 頼 振南(輔仁大学教授兼院長・台湾日本語 文学会理事長・国際医療翻訳協会理 事長) 演 講 者 山内 信幸(同志社大学教授兼学部長) 講 題 キャップストーンコースとキャリア教育のレリバンス —大学教育の質的変革と同志社大学文化情報学部での「学 び」の実践例—
1000-1050	基調講演(2) 主持人 曾 秋桂(淡江大学教授兼系主任・台湾日本語 教育学会理事長) 演 講 者 李 吉遠(韓国教授) 講 題 キャップストーンデザインと外国語教育— 東亜大学校中日学部でのコースデザインの実 践例—
1050-1100	ティータイム
1100-1200 (第一発表セ ッション)	主持人 黄 翠娥(輔仁大学教授) 発表者 落合由治(淡江大学教授)・ 曾 秋桂(淡江大学教授兼系主任) 題目 キャップストーンコースとしての「卒業制作」 の古今と課題—淡江大学日本語文学科を例に 発表者 中村 香苗(淡江大学助理教授) 題目 キャリア教育を目指した日本語教育実習—そ

	の成果と課題一
1200-1300	昼食
1300-1400 (第二発表セッション)	<p>主持人 頼 錦雀(東呉大学教授)</p> <p>発表者 董 莊敬(文藻外語大学副教授)</p> <p>題目 大学におけるキャリア支援の有用性と課題 —就職経路、大学経験からの影響要因の検討—</p> <p>発表者 羅 曉勤(銘伝大学副教授)</p> <p>題目 海外インターンシップ実施現状及び課題 —銘伝大学応用日本語学科を例に一—</p>
1400-1500 (第三発表セッション)	<p>主持人 范 淑文(台湾大学教授兼学科主任)</p> <p>発表者 堀越 和男(淡江大学副教授)</p> <p>題目 ドキュメンタリー制作を取り入れた4年生会話 授業の試み—「卒業制作」との連携—</p> <p>発表者 河村 裕之(淡江大学講師)</p> <p>題目 「雑誌編集」—指導の現状と成果—</p>
1500-1510	ティータイム
1510-1610 (第四発表セッション)	<p>主持人 蘇 克保(東呉大学副教授兼学科主任)</p> <p>発表者 孫 寅華(淡江大学副教授)</p> <p>題目 二年生会話教室においてディベート実施の 可能性</p> <p>発表者 富田 哲(淡江大学副教授)</p> <p>題目 大学教育での日本語ディベートの実践 —意義と限界—</p>
1610-1710 (第五発表セッション)	<p>主持人 李 偉煌(静宜大学副教授兼学科主任)</p> <p>発表者 林 寄雯(淡江大学副教授)</p> <p>題目 実務に生かす第二言語習得の実践例 —淡江大学卒業專題翻訳組を例として—</p> <p>発表者 王 憶雲(淡江大学助理教授)</p> <p>題目 キャプストンプログラムと卒業演劇公演</p>
1710-1720	閉幕式

主催 淡江大学日本語文学系

共催 淡江大学村上春樹研究中心・台湾日語教育学会

後援 (公財)日本台湾交流協会台北事務所